

「いつまでもわが家で暮らしたいをささえる」 ～支える人@小規模多機能型居宅介護

◆プロフィール◆
山内大貴
フォーシーズン浦川内 管理者
趣味：バスケットボール 魚釣り



◆プロフィール◆
松岡 美幸
フォーシーズン在宅ケアセンター 管理者
趣味：アウトドア

小規模多機能型居宅介護とは…

自宅での生活を中心に、ご本人の様態や希望に応じて

「通い」

「訪問」

「泊まり」

のサービスを組み合わせて“自宅で継続して生活するために”必要な支援を行う事業所です。3つのサービスをひとつの事業所で一体的に提供することができ、馴染みの関係が築かれたスタッフが利用者やその家族の生活に合わせたサービス提供を行うため、日々変化する利用者の状況にその都度対応し、サービスを変化させながら提供できるのが大きな特徴です。

特に認知症の方にとっては同じ場所でいつものスタッフからサービスを受けられる事は安心感に繋がります。小規模多機能型居宅介護では利用者一人ひとりに合わせて24時間365日切れ目なく、その方が必要とされる支援を柔軟に受ける事ができます。

■小規模多機能型居宅介護で行う3つのサービスを紹介します

①通いサービス・・・365日いつでも利用できます（ケアプランによる）。ご利用者やご家族の生活リズムに合わせた利用の仕方が出来ます。朝から夕方までの利用はもちろんのこと、夕食まで食べてから帰宅、もしくは食事のみ、入浴のみに数時間だけ利用するなど、臨機応変に対応します。

②訪問サービス…時間や回数に制限がないため、必要なときに必要な時間だけの利用が可能です。例えば安否確認や服薬だけの短時間訪問や、食事の配食、病院付き添いなどの対応が可能です。

③泊まりサービス…日中通いサービスを利用してそのまま1泊から数日の連泊であったり、本人の体調やご家族の急用等に応じて急な泊まり利用の受け入れを行ったりと柔軟に対応が可能です。

このように状態や状況に応じ、柔軟にサービスを組み合わせる事でご本人やご家族が安心して自宅での生活を続けていけるよう支援する事が小規模多機能の役割と考えています。

特に認知症の方やお一人暮らしの方などは、日々の状態の変化などに不安を抱え生活をされている方も少なくはありません。今の状況であれば何が必要なのかどういったサービスが適しているのかを常に考え、時には地域の方にも協力を仰ぎ住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援を行っております。

ご利用者様の今、その時に寄り添い、思いを知る事でこれまでの生活をこれからも変わらず続けられるようケアに取り組んでいます。



プラスフォーシーズン



フォーシーズン
在宅ケアセンター



フォーシーズン浦川内